

令和5年度事業計画

新型コロナウイルス感染症や物価高騰の収束が見通せない中、地域経済への影響は、依然として多大であり、楽観視できない状況となっている。

こうした中、フェリー運航船会社の経営も厳しい状況が続き、当社の主な財源である棧橋等賃貸料についても、将来にわたって安定的という保証はなく、見通しは不透明である。

今後、青森港及び八戸港において、限られた財源の中で、将来を見据えたフェリー利用の円滑化や機能の向上、安全性・利便性の向上を図っていくことが、一層重要となる。

このことから、令和5年度の予算編成に当たっては、持続可能で真に必要な事業及び事業費を的確に把握し見積もることとする。具体的には以下による。

1 基本方針

- (1) 令和5年度の公社予算の編成においては、コロナ過がもたらしている経済社会情勢の変化や顕在化・複雑化している課題に適切に対応していくため、将来を見据えた新たな取組を早期に展開していく。
- (2) 施設の維持管理及び修繕等において、フェリー埠頭及び航路の維持発展につながる事業へと再構築していく必要があることから、社会経済情勢の変化に応じ機動的な対応が可能となるよう、事業の見直しや削減等を積極的に進める。
- (3) 国内外の観光がウィズコロナによる新しい段階に移行しつつあることを踏まえフェリーの利用促進に向けた利便性向上や情報発信等の更なる取組を進める。
- (4) 特に重点的に取り組む事項を定め、これに基づく具体的な事業を企画立案し、事業効果が最大限発揮できるよう取組を進める。

重点項目

- ・維持管理計画の再構築
- ・情報発信力強化
- ・八戸港ターミナルビル建替え

2 定款に定める公益目的事業

青森港及び八戸港のフェリー埠頭及びフェリー埠頭の円滑な利用を確保するために必要な施設の建設、賃貸及び管理運営を公益目的事業とする。

3 具体的計画

(1) 修繕工事実施計画

- ・青森港 (修繕費 47,200千円)
港湾法に基づく10年毎の詳細点検のため係留施設維持管理計画書更新業務委託等を行う。
- ・八戸港 (修繕費 7,500千円)
埠頭施設の維持修繕工事等を行う。

(2) 固定資産取得等(施設整備)実施計画

- ・青森港 (資産取得 135,820千円)
第1バース自家発電機の設置工事等を行う。
- ・八戸港 (資産取得 1,031,292千円)
ターミナルビル建設事業に伴う建設工事等を行う。

4 埠頭の運営

(1) 青森港

令和4年度に引き続き、利用船社2社で就航船8隻、運航便数16便を予定しており、
 棧橋等賃貸料は295,250千円を見込み、諸施設の効率的な運用を図る。

船社別就航等の計画は、次のとおりである。

船社名	区分	航路	就航船数(隻)	便数(便)	就航トン数	年間接岸トン数見込	備考
津軽海峡フェリー(株)		青森⇄函館	4	8	70,698	24,567,600	・利用バース数
青函フェリー(株)		青森⇄函館	4	8	18,124	6,367,519	4バース
合計			8	16	88,822	30,935,119	

(2) 八戸港

令和4年度に引き続き、利用船社1社で就航船4隻、運航便数4便を予定しており、
 棧橋等賃貸料は201,880千円を見込み、諸施設の効率的な運用を図る。

就航等の計画は、次のとおりである。

船社名	区分	航路	就航船数(隻)	便数(便)	就航トン数	年間接岸トン数見込	備考
川崎近海汽船(株)		八戸⇄苫小牧	4	4	37,463	13,105,008	・利用バース数 2バース